

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公表特許公報(A)

(11) 特許出願公表番号

特表2005-523854

(P2005-523854A)

(43) 公表日 平成17年8月11日(2005.8.11)

(51) Int. Cl.<sup>7</sup>

B65D 5/06

A24F 15/12

B65D 85/10

F I

B65D 5/66

301C

A24F 15/12

B65D 85/10

テーマコード(参考)

3E060

3E068

審査請求 未請求 予備審査請求 有 (全 16 頁)

(21) 出願番号 特願2004-501281 (P2004-501281)  
 (86) (22) 出願日 平成15年4月12日 (2003. 4. 12)  
 (85) 翻訳文提出日 平成16年11月1日 (2004. 11. 1)  
 (86) 国際出願番号 PCT/EP2003/003811  
 (87) 国際公開番号 W02003/093136  
 (87) 国際公開日 平成15年11月13日 (2003. 11. 13)  
 (31) 優先権主張番号 102 19 464.5  
 (32) 優先日 平成14年4月30日 (2002. 4. 30)  
 (33) 優先権主張国 ドイツ (DE)

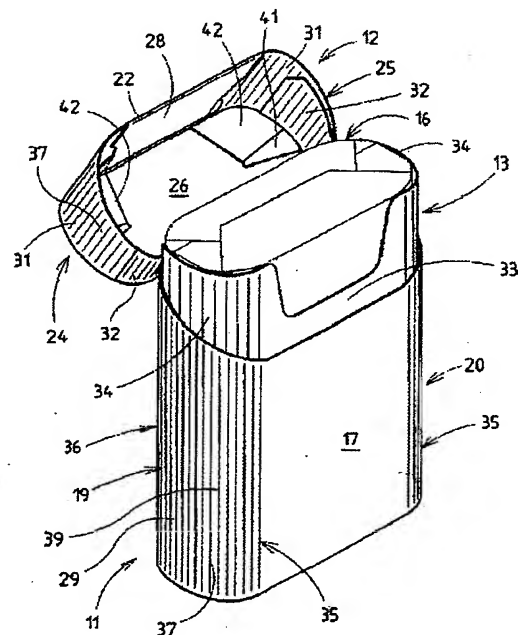
(71) 出願人 590003205  
 フォッケ・ウント・コンパニー (ゲーエム  
 ベーハー・ウント・コンパニー・カーゲー  
 )  
 Focke & Co. (GmbH &  
 Co. KG)  
 ドイツ連邦共和国、デー - 27283  
 フェルデン、シーメンスシュトラッセ  
 10  
 (74) 代理人 100058479  
 弁理士 鈴江 武彦  
 (74) 代理人 100091351  
 弁理士 河野 哲  
 (74) 代理人 100088683  
 弁理士 中村 誠

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 シガレットパッケージ

(57) 【要約】

ヒンジ蓋付きボックスタイプのシガレットバックが、ほぼ円形、または、完全に円形の側部壁(19、20)と蓋の側部壁(24、25)を備える。側部壁は、この場合、半径を異にする複数の円形領域で構成されるとともに、平面的な中央サイドストリップを備えている。



## 【特許請求の範囲】

## 【請求項1】

ボックス部(11)と、ボックス部に接続された蓋(12)と、カラー(13)とを含み、ボックス部(11)と蓋(12)が、円形断面の対応する直立前部および後部縁部(35, 36)-円形縁部-を形成するヒンジ蓋付きボックス(ヒンジ蓋付きパック)タイプのシガレットパックであって、

パック縁部(35, 36)の円形部分は、シガレット(10)の半径よりも相当に大きい、すなわち、6mm~10mm、特に(約)8mmの(仮想)半径を有するシガレットパック。

## 【請求項2】

側部壁(19, 20)と蓋の側部壁(24, 25)は、前部と後部の円形パック縁部(35, 36)から形成されており、比較的幅の狭い平面の中間領域-サイドストリップ(38)-(平面状の)サイドストリップ(38)は、好ましくは、7mm~8mmの幅を有する請求項1記載のシガレットパック。

## 【請求項3】

側部壁(19, 20)および蓋の側部壁(24, 25)は、全体に円形、すなわち、円形の前部および後部のパック縁部(35, 36)と、これらの間に設けられ、円形のパック縁部(35, 36)の半径よりも相当に大きい、すなわち、15mm~20mm、特に、約17mmの(仮想)半径を備える円形領域(37)を有する請求項1記載のシガレットパック。

## 【請求項4】

それぞれの側部壁(19, 20)と蓋の側部壁(24, 25)を形成するサイドタブ(29, 30)および蓋の側部タブ(31, 32)は、サイドストリップ(38)の領域においてのみ互いに重なり、(接着により)互いに接続される請求項2記載のシガレットパック。

## 【請求項5】

それぞれの側部壁(19, 20)と蓋の側部壁(24, 25)を形成するサイドタブ(29, 30)および蓋の側部タブ(31, 32)は、円形領域(37)においてのみ互いに重なり、(接着により)互いに接続される請求項3記載のシガレットパック。

## 【請求項6】

シガレットパックを製造するためのブランクは、部分的に重なる側部タブ(29, 30)と蓋の側部タブ(31, 32)を含む側部壁(19, 20)および蓋の側部壁(24, 25)を有し、前記側部タブ(29, 30)および蓋の側部タブ(31, 32)は、少なくとも円形部分を形成する領域において、すなわち、円形のパック縁部(35, 36)および円形領域(37)において、全体に、すなわち、それらの幅全体に亘って切れ目(39)を備える請求項1~5のいずれか1記載のシガレットパック。

## 【請求項7】

外側の側部タブ(29)および/または内側の側部タブ(30)および/または外側の蓋の側部タブ(31)および/または内側の蓋の側部タブ(32)は、側部壁(19, 20)および蓋の側部壁(24, 25)の平面状の境界ストリップ(45)の領域において、平面状の重なり部を形成するための切れ目のない外側の境界ストリップ(45)を備えている請求項6記載のシガレットパック。

## 【請求項8】

ベース壁(21)および/または端部壁(26)の領域におけるコーナタブ(41, 42)は、曲折状態において、その外形と大きさが、円形のパック縁部(35, 36)および隣接する側部壁(19, 20)および/または蓋の側部壁(24, 25)の領域と向き合って形状が合致して接するように設計される請求項1~7のいずれか1記載のシガレットパック。

## 【請求項9】

ベース壁(21)および/または端部壁(26)には、側部壁(19, 20)および/または蓋の側部壁(24, 25)の領域において、それぞれに2つのコーナタブ(41, 42)が充当されており、

それぞれに相互作用を行うコーナタブ(41, 42)は、楔状の打ち抜き部(43)によって互いに分離されており、前記2つのコーナタブ(41, 42)は、曲折状態においては、

隙間のない態様で互いに向き合って直接接する請求項 1～8 のいずれか 1 記載のシガレットパック。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

この発明は、ボックス部と、ボックス部に接続された蓋と、カラーとを含むヒンジ蓋付きボックス(ヒンジ蓋付きパック)タイプのシガレットパックに関し、前記ボックス部と蓋は、円形断面-円形縁部を備える対応する直立した前部および後部のパック縁部を形成する。

【背景技術】

10

【0002】

【特許文献 1】 EP 特許第 0, 204, 933 号明細書 円形のパック縁部を備えるヒンジ蓋付きボックスは知られている。この知られた断面形状におけるパック縁部の円形部分は、シガレットの寸法、すなわち、シガレットの半径に適合している。

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0003】

この発明の目的は、シガレットパックすなわち円形縁部を備えるヒンジ蓋付きボックスを更に開発、改良して、改善された触感(handling)、および、多量の材料を使用せずにパックの安定性を実現することである。

20

【課題を解決するための手段】

【0004】

この目的を達成するために、この発明のシガレットパックは、円形縁部の(仮想)半径が、シガレットの半径よりも相当に大きい、すなわち、前記(仮想)半径が、特に、6 mm～10 mm、好ましくは約 8 mmである点において規定される。シガレットの半径は約 3.8 mmである。

【0005】

この発明の円形縁部の断面形状の結果として、パックの両側部壁の大部分が、円形部分すなわち円形縁部によって形成される。円形縁部の間に規定されるパックの側部壁のサイドストリップは、パックの 1 つの特別な具体例によれば平坦であり、別の具体例によれば 30、円形縁部の半径よりも相当に大きい半径の円形である。

【0006】

この発明のパックの断面形状は、省材料の生産を可能にする。更には、ユーザによる触感(handling)が顕著な円形部分が原因で改善される。最後に、前記円形部分は、パック全体としての寸法安定性の増大をもたらす。

【0007】

1 つの特徴はブランクの構造にあり、これを詳細に言えば、一方においては、円形部分を形成するための曲折タブの調製であり、他方においては、コーナタブの構造にある。前記コーナタブは、その幾何学的形状と配置のために、ベース壁と端部壁の領域において円形部分の領域における寸法安定性の増大をもたらす。

40

【発明を実施するための最良の形態】

【0008】

この発明のパックの模範具体例を添付図面を参照しつつ詳細に説明する。

【0009】

図示の模範具体例は、シガレット 10 を収容するヒンジ蓋付きボックスタイプのパックを取り扱う。そのようなパックは、(底部の)ボックス部 11 と蓋 12 を含む。蓋 12 は、ピボット態様でボックス部 11 に接続されている。このパックはまた、ボックス部 11 の前側に固定されるカラー 13 を含み、ボックス部 11 から突出する頂部領域を有する。

【0010】

パックの内容物、すなわち、シガレットグループ 14 は、錫箔または紙製の内側ブラン 50

クによって完全に囲まれており、こうしてシガレットブロック16が形成される。パックは通常、(図示を省略する)外側フィルムによって包まれているが、パックが初めて開封されるときに部分的に取り除かれる。

【0011】

ボックス部11は、前部壁17、後部壁18、側部壁19、20およびベース壁21を有する。同様に、蓋は、蓋の前部壁22、蓋の後部壁23、蓋の側部壁24、25、および、頂端部壁26を有する。蓋の後部壁23は、横断方向に向く直線状の関節27を介してボックス部11の後部壁18に接続されている。

【0012】

このタイプのパック用のブランクは、前部壁17、ベース壁21、後部壁18、蓋の後部壁23、端部壁26および蓋の前部壁22が、連続して1つのユニットを形成するような構造とされる。蓋の前部壁22の自由な境界面には通例の蓋の内側タブ28が取り付けられており、前記内側タブ28は、パックが完成されたとき、蓋の前部壁22の内側に向かって曲折され、前記前部壁22に接続される。

【0013】

側部壁19、20および蓋の側部壁24、25は、一部が重なった側部タブ、つまり、外側になる側部タブ29、内側になる側部タブ30、外側になる蓋の側部タブ31、および、内側になる蓋の側部タブ32を有する。

【0014】

カラー13は、(図4、図8の)別体のブランクを有し、カラーの前部壁33とカラーの側部タブ34を含む。

【0015】

パックの1つの特徴は、側部壁19、20と蓋の側部壁24、25の形状である。これらはすべて円形をなし、通例の円形部分を備えている。

【0016】

図1～4および図9の模範具体例の場合には、側部壁19、20および24、25が完全な円形である。側部壁19、20および24、25は、形状と大きさが異なり、半径を異にする円形領域を有するが、個々の領域は互いに融合し合い、段差のない態様で、つまりほぼ接線方向に関連する壁部となる。

【0017】

ヒンジ蓋付きボックスにあっては、通例の直立したパック縁部35、36は、すぐにそれとわかる特徴的な円形部分を備えている。これらの各円形パック縁部35、36は、それらの断面に見られるように四分円の領域よりも相当に小さい領域を越えて延出している。円形部分、すなわち、パック縁部35、36の半径は、シガレット10の円形部分よりも相当に大きく、言い換えれば、それらの半径は、6～10mm、特に、ほぼ8mmである。円形の間コンポーネントすなわち円形領域37は、結果として生じるパック縁部35、36の中間に形成される。この円形領域は、変わり目のない態様で、パックの縁部35、36に遷移して、側部壁19、20；24、25全体にスムーズな円の形状を生じる。中央の円形領域37は、パックの縁部35、36の円形部分よりも相当に大きい半径、すなわち、15mm～20mmのオーダーの規模の半径、特に約17mmの半径を持っている。

【0018】

側部壁19、20；24、25は、側部タブ29、30；31、32によって形成される。前記側部タブは、中央の円形領域においてのみ互いに重なる。

【0019】

カラー13は、パックの内側形状に合わされる、すなわち、前側のパック縁部35、36の円形部分に平行である。後部においては、カラーの側部タブ34は、パックの縁部35、36まで延出している。

【0020】

図5～図9および図10のヒンジ蓋付きボックスの場合は、円形のパック縁部35、36がもっとはっきりと規定されている、すなわち、前記縁部は、まさに四分円を越えて延

出している。これらの対応する円形のバック縁部 35、36 は、これらのバック縁部とともに側部壁 19、20 および蓋の側部壁 23、24 を形成するサイドストリップ 38 と接している。バック縁部 35、36 の円形部分は、ここでは、接線方向に融合してサイドストリップ 38、前部壁 17、22 および後部壁 18、23 となる。サイドストリップ 38 の幅は、シガレット 10 の本数に依存するバックの横断方向の寸法から決まり、図示の模範具体例においては、約 7 mm ~ 8 mm である。この例においても、バック縁部は約 8 mm の半径を備えている。

#### 【0021】

側部タブ 29、30；31、32 は、中央のサイドストリップ 38 の領域、詳しくは、前記サイドストリップの中央のサブ領域においてのみ互いに重なっており、約 0.5 mm の 10  
スペースが両側に残されている(図 10 参照)。

#### 【0022】

バックを製造するためのブランクは、バックの形状と特別な態様で調整されている。図 9 の断面形状を呈するバック用のブランクは、図 3 に示されており、このブランクは、側部タブ 29、30 および蓋の側部タブ 31、32 の全幅を越える円形領域のために提供される。詳細に言えば、前記ブランクは、これらのブランクの諸部分のおかげで前記円形領域に対応するように、特定すれば、ブランクが打ち抜かれることによって導入される長手方向に平行して延出する切れ目 39 を設けることによって予備処理が施される。切れ目 39 によって提供されるこれらのブランクの領域は、多数の平行な点線によって規定される。

20

#### 【0023】

ベース壁 21 と端部壁 26 は、バック(図 9)の断面形状に合わされている。横断方向の境界 40 は、円形であり、正確に言えば、図 9 における側部壁 19、20；24、25 の上記の形状、すなわち、隣接する複数の円形部分に一致する。

#### 【0024】

ベース壁 21 と端部壁 26 に専ら設けられるコーナタブ 41、42 は、特別な態様で設計される。コーナタブ 41、42 は、内側の側部タブ 30 と蓋の側部タブ 32 の面に、詳細には、ベース壁 21 と端部壁 26 に沿う自由領域における初期位置に取り付けられる。

#### 【0025】

楔状の打ち抜き部 43 によって互いから切り離される 2 つのコーナタブ 41、42 が各側に充当される。バックが完成されたとき(図 2 参照)、2 つのコーナタブ 41、42 はそれぞれ内側において端部壁 26 と向き合って接しており、側部壁 19、20 の領域においては同様にベース壁 21 と向き合って接する。端部壁 26 に関しては、図 2 にその相対的な位置が示されている。一方においては円形部分のために、他方においては V 字状の打ち抜き部 43 のために、2 つのコーナタブ 41、42 が重なることなく互いに向き合って直接接している。

30

#### 【0026】

別の特徴は、どちらの場合にも円形の前側のバック縁部 35 に充当されるコーナタブ 42 の形状である。必須の要件として台形を呈するコーナタブ 42 は、最初は弓状、次いで 40  
直線状である傾斜外形 44 を備えている。この外形は、コーナタブ 42 が、この外形を介して、関連する円形のバック縁部 35、および、前部壁 17 と蓋の前部壁 22 の隣接領域と向き合って接するように設計される(図 2 参照)。コーナタブ 42 は、こうして、バックの前側円形縁部 35 の領域におけるバックの形状の安定化を助成する。コーナタブ 41、42 は、接着によって、ベース壁 21 と端部壁 26 に有利に接続されている。

#### 【0027】

図 10 のバックを形成するブランクは、特別な態様で設計される。外側の側部タブ 29 は、その全表面エリアに亘って切れ目 39 を備えている。内側の側部タブ 30 は、円形領域に切れ目 39、すなわち、プロセス中に形成される切れ目ストリップ 49 を有する。切れ目のない境界ストリップ 45 は、切れ目ストリップ 49 に沿って配置されている。この 50

境界ストリップ45は、サイドストリップ38の領域に延出する、すなわち、それは弓状の形態をしていない。外側の側部タブ29は、同様に、すなわち、切れ目のない境界ストリップを備えるように設計することができる。

#### 【0028】

この模範具体例にあっても、コーナタブ42は、ベース壁21と端部壁26の内側において、形態が合致し合う配置が可能のように設計される。外側縁部46は、ブランクの長手方向に延出する。内側縁部47は、僅かに傾斜した態様で延出する。

#### 【0029】

カラー13(図8)は、上に説明した模範具体例の場合と同様に設計される。

#### 【0030】

図示の模範具体例の場合は、蓋の内側タブ28は、ヒンジ蓋付きボックスの場合に知られている蓋12のための閉鎖補助部材を作り出すための周辺の打ち抜き部分48を備えている。

#### 【0031】

シガレット10は、上記の態様で設計されるシガレットパックの内部において、様々なやり方で形成される。1つの有利な配置は、図9、10によるものであって、シガレットの横断方向の複数列から構成され、各列は、2本又は3本のシガレットが並ぶ。したがって、中央の横断方向領域面には例外として、つまり、-サドル位置に-互いにオフセットされた態様でシガレットを配置することができる。並んで配置された2本のシガレットは、前記両図のどちらにおいても、該当する側部壁19、20および蓋の側部壁24、25と向かい合って配置される。

#### 【図面の簡単な説明】

#### 【0032】

【図1】 閉じた位置にあるシガレット用円形ヒンジ蓋付きパックの斜視図。

【図2】 蓋が開いた図1のパック。

#### 【0033】

【図3】 図1、図2のパックのための展開された、曲折されていないブランク。

【図4】 図1、図2のパックのためのカラーのブランク。

【図5】 図1のパックに対応するパックの別の模範具体例。

【図6】 開いた位置にある図5のパック。

【図7】 図5、図6のパックのための展開された、曲折されていないブランク。

【図8】 図5、図6のパックのためのカラーのブランク。

【図9】 図1のIX-IX断面に沿う水平断面における図1、図2のパック。

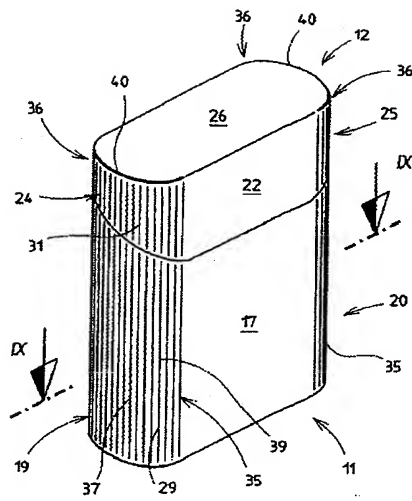
【図10】 図5のX-X断面に沿う図5、図6のパックの図9に類似したパック。

#### 【符号の説明】

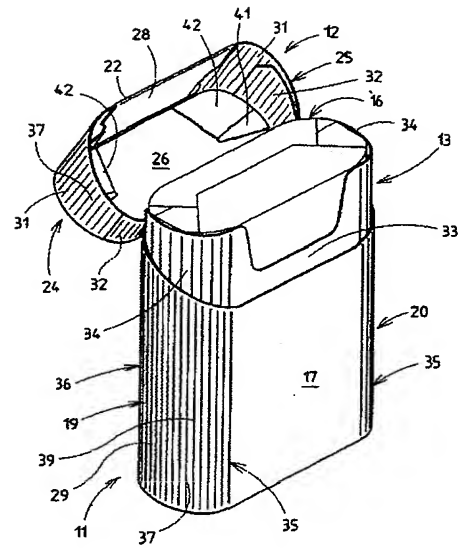
#### 【0034】

10…シガレット、11…ボックス部、12…蓋、13…カラー、14…シガレットグループ、15…内側ブランク、16…シガレットブロック、17…前部壁、18…後部壁、19…側部壁、20…側部壁、21…ベース壁、22…蓋の前部壁、23…蓋の後部壁、24…蓋の側部壁、25…蓋の側部壁、26…端部壁、27…直線状の関節、28…蓋の内側タブ、29…側部タブ(外側)、30…側部タブ(内側)、31…蓋の側部タブ(外側)、32…蓋の側部タブ(内側)、33…カラーの前部壁、34…カラーの側部タブ、35…パック縁部、36…パック縁部、37…円形領域、38…サイドストリップ、39…切れ目、40…境界、41…コーナタブ、42…コーナタブ、43…打ち抜き部、44…断面形、45…境界ストリップ、46…外側縁部、47…内側縁部、48…打ち抜き部、49…切れ目ストリップ、

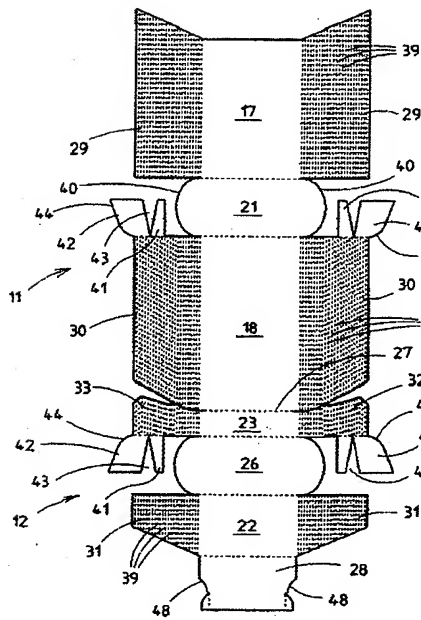
【図 1】



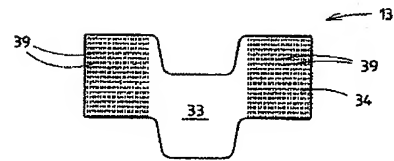
【図 2】



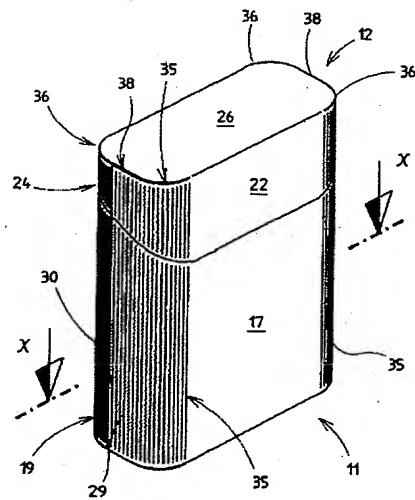
【図 3】



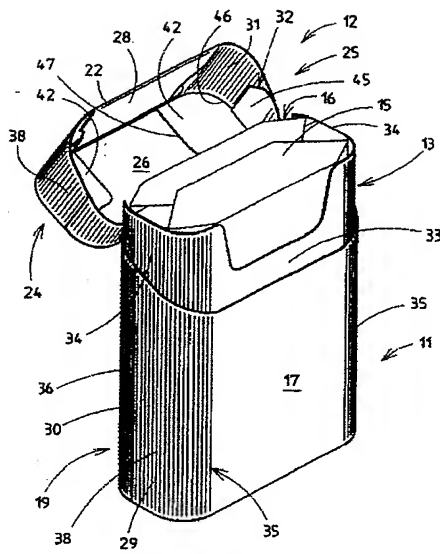
【図 4】



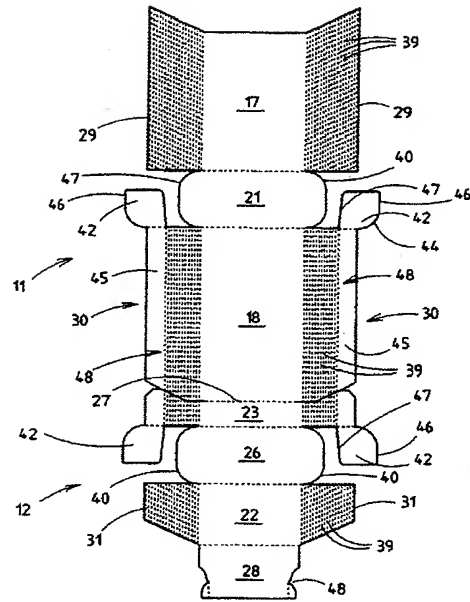
【図 5】



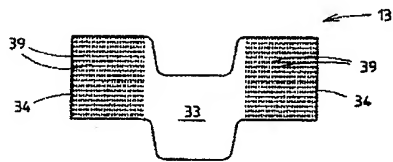
【図 6】



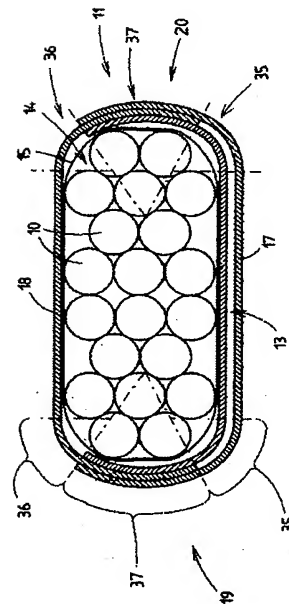
【図 7】



【図 8】

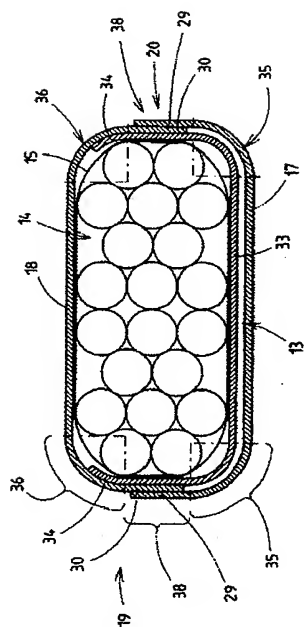


【図 9】





【図 10】



## 【国際調査報告】

## INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International Application No.  
PCT/EP 03/03811

<b>A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER</b> IPC 7 B65D85/10		
According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC		
<b>B. FIELDS SEARCHED</b> Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols) IPC 7 B65D		
Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched		
Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practical, search terms used) EPO-Internal		
<b>C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT</b>		
Category *	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y A	US 5 478 011 A (PHAM XUAN M) 26 December 1995 (1995-12-26)  column 5, paragraph 5 -column 7, paragraph 4 figures 1-8,12	1,2,4,8 3,5-7,9
Y	EP 0 764 594 A (GD SPA) 26 March 1997 (1997-03-26) column 2, line 5 -column 4, line 1 column 2, line 46 - line 55 figures	1,2,4,8
A	EP 0 414 532 A (TOBACCO RES & DEV) 27 February 1991 (1991-02-27) column 3, line 25 - line 52 column 5, line 1 - line 13 figures 1,2,15,16	1,3
-/-		
<input checked="" type="checkbox"/> Further documents are listed in the continuation of box C. <input checked="" type="checkbox"/> Patent family members are listed in annex.		
* Special categories of cited documents: "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "E" earlier document but published on or after the international filing date "L" document which may (now double as priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed "T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "&" document member of the same patent family		
Date of the actual completion of the international search		Date of mailing of the international search report
9 July 2003		21/07/2003
Name and mailing address of the ISA European Patent Office, P.B. 5618 Patentlaan 2 NL - 2280 HV Rijswijk Tel. (+31-70) 340-2940, Tx. 31 651 epo nl Fax: (+31-70) 340-3016		Authorized officer  Nistor, L

## INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International Application No.  
PCT/EP 03/03811

## C. (Continuation) DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category *	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	EP 0 941 943 A (6D SPA) 15 September 1999 (1999-09-15) column 2, paragraph 12 figure 2	1, 3, 5-8
A	DE 100 31 319 A (FOCKE & CO) 17 January 2002 (2002-01-17) column 2, line 30 -column 3, line 5 figures 1-5	1, 2, 4
A	US 6 311 834 B1 (FOCKE HEINZ ET AL) 6 November 2001 (2001-11-06) column 2, line 57 -column 3, line 13 column 3, line 35 -column 5, line 36 figures 1, 2, 5, 6	1, 2, 4
A	DE 31 16 924 A (WILFER OSKAR) 10 February 1983 (1983-02-10) page 9, line 15 -page 10, line 22 figures 1, 2	1, 9

## INTERNATIONAL SEARCH REPORT

Information on patent family members

International Application No.

PCT/EP 03/03811

Patent document cited in search report		Publication date	Patent family member(s)	Publication date
US 5478011	A	26-12-1995	NONE	
EP 0764594	A	26-03-1997	IT 80950446 A1 CN 1149431 A EP 0764594 A1 US 5823331 A	25-03-1997 14-05-1997 26-03-1997 20-10-1998
EP 0414532	A	27-02-1991	AU 637131 B2 AU 6120190 A CA 2023664 A1 DE 69017560 D1 DE 69017560 T2 EP 0414532 A1 US 5044550 A US 5092107 A ZA 9007790 A	20-05-1993 28-02-1991 23-02-1991 13-04-1995 19-10-1995 27-02-1991 03-09-1991 03-03-1992 28-08-1991
EP 0941943	A	15-09-1999	IT 80980146 A1 CN 1232775 A DE 69905301 D1 EP 0941943 A1 US 6168014 B1	13-09-1999 27-10-1999 20-03-2003 15-09-1999 02-01-2001
DE 10031319	A	17-01-2002	DE 10031319 A1 AU 8755301 A BR 0112156 A WO 0202306 A1 EP 1296813 A1	17-01-2002 14-01-2002 10-06-2003 10-01-2002 02-04-2003
US 6311834	B1	06-11-2001	DE 19741481 A1 AU 9740098 A BR 9812253 A CN 1273557 T DE 59806212 D1 WO 9915436 A1 EP 1015353 A1 JP 2001517588 T PL 339307 A1	25-03-1999 12-04-1999 18-07-2000 15-11-2000 12-12-2002 01-04-1999 05-07-2000 09-10-2001 04-12-2000
DE 3116924	A	10-02-1983	DE 3116924 A1	10-02-1983

## INTERNATIONALE RESEARCHENBERICHT

Internationale Aktenzeichen

PCT/EP 03/03811

<b>A. KLASSIFIZIERUNG DES ANMELDUNGSGEGENSTANDES</b> IPK 7 B65D85/10		
Nach der internationalen Patentklassifikation (IPK) oder nach der nationalen Klassifikation und der IPK		
<b>B. RESEARCHIERTE GEBIETE</b> Recherchierte Mindestprüfstoff (Klassifikationssystem und Klassifikationssymbole) IPK 7 B65D		
Recherchierte aber nicht zum Mindestprüfstoff gehörende Veröffentlichungen, soweit diese unter die recherchierten Gebiete fallen		
Während der internationalen Recherche konsultierte elektronische Datenbank (Name der Datenbank und evtl. verwendete Suchbegriffe) EPO-Internal		
<b>C. ALS WESENTLICH ANGESEHENE UNTERLAGEN</b>		
Kategorie*	Bezeichnung der Veröffentlichung, soweit erforderlich unter Angabe der in Betracht kommenden Teile	Behr. Anspruch Nr.
Y	US 5 478 011 A (PHAM XUAN M) 26. Dezember 1995 (1995-12-26)	1,2,4,8
A	Spalte 5, Absatz 5 - Spalte 7, Absatz 4 Abbildungen 1-8,12	3,5-7,9
Y	EP 0 764 594 A (GD SPA) 26. März 1997 (1997-03-26) Spalte 2, Zeile 5 - Spalte 4, Zeile 1 Spalte 2, Zeile 46 - Zeile 55 Abbildungen	1,2,4,8
A	EP D 414 532 A (TOBACCO RES & DEV) 27. Februar 1991 (1991-02-27) Spalte 3, Zeile 25 - Zeile 52 Spalte 5, Zeile 1 - Zeile 13 Abbildungen 1,2,15,16	1,3
-/-		
<input checked="" type="checkbox"/> Weitere Veröffentlichungen sind der Fortsetzung von Feld C zu entnehmen		
<input checked="" type="checkbox"/> Siehe Anhang Patentfamilie		
* Besondere Kategorien von angegebenen Veröffentlichungen : "A" Veröffentlichung, die den allgemeinen Stand der Technik definiert, aber nicht die besondere Bedeutung anzuzeigen ist "E" Solches Dokument, das jedoch erst am oder nach dem internationalen Anmeldedatum veröffentlicht worden ist "L" Veröffentlichung, die geeignet ist, einen Prioritätsanspruch zweifelsfrei erscheinen zu lassen, oder durch die das Veröffentlichungsdatum einer anderen im Recherchenbericht genannten Veröffentlichung belegt werden soll oder die aus einem anderen besonderen Grund angegeben ist (wie ausgeführt) "O" Veröffentlichung, die sich auf eine mündliche Offenbarung, eine Benutzung, eine Ausstellung oder andere Maßnahmen bezieht "P" Veröffentlichung, die vor dem internationalen Anmeldedatum, aber nach dem beanspruchten Prioritätsdatum veröffentlicht worden ist "T" Spätere Veröffentlichung, die nach dem internationalen Anmeldedatum oder dem Prioritätsdatum veröffentlicht worden ist und mit der Anmeldung nicht kollidiert, sondern nur zum Verständnis des der Erfindung zugrundeliegenden Prinzips oder der ihr zugrundeliegenden Theorie angegeben ist "X" Veröffentlichung von besonderer Bedeutung; die beanspruchte Erfindung kann allein aufgrund dieser Veröffentlichung nicht als neu oder auf erfindungstüchtiger Tätigkeit beruhend betrachtet werden "Y" Veröffentlichung von besonderer Bedeutung; die beanspruchte Erfindung kann nicht als auf erfindungstüchtiger Tätigkeit beruhend betrachtet werden, wenn die Veröffentlichung mit einer oder mehreren anderen Veröffentlichungen dieser Kategorie in Verbindung gebracht wird und diese Verbindung für einen Fachmann naheliegend ist "Z" Veröffentlichung, die Mitglied derselben Patentfamilie ist		
Datum des Abschlusses der internationalen Recherche 9. Juli 2003		Abschlusssdatum des internationalen Recherchenberichts 21/07/2003
Name und Postanschrift der internationalen Recherchenbehörde Europäisches Patentamt, P.B. 5818 Patenten 2 NL - 2280 HV Rijswijk Tel. (+31-70) 340-2040, Tx. 31 651 epo nl, Fax: (+31-70) 340-3016		Bevollmächtigter Beauftragter Nistor, L

## INTERNATIONALES RECHERCHENBERICHT

Internationales Aktenzeichen

PCT/EP 03/03811

C. (Fortsetzung) ALS WESENTLICH ANGESEHENE UNTERLAGEN		
Kategorie*	Bezeichnung der Veröffentlichung, soweit erforderlich unter Angabe der in Betracht kommenden Teile	Beitr. Anspruch Nr.
A	EP 0 941 943 A (GD SPA) 15. September 1999 (1999-09-15) Spalte 2, Absatz 12 Abbildung 2	1,3,5-8
A	DE 100 31 319 A (FÖCKE & CO) 17. Januar 2002 (2002-01-17) Spalte 2, Zeile 30 - Spalte 3, Zeile 5 Abbildungen 1-5	1,2,4
A	US 6 311 834 B1 (FÖCKE HEINZ ET AL) 6. November 2001 (2001-11-06) Spalte 2, Zeile 57 - Spalte 3, Zeile 13 Spalte 3, Zeile 35 - Spalte 5, Zeile 36 Abbildungen 1,2,5,6	1,2,4
A	DE 31 16 924 A (WILFER OSKAR) 10. Februar 1983 (1983-02-10) Seite 9, Zeile 15 - Seite 10, Zeile 22 Abbildungen 1,2	1,9

## INTERNATIONALER RECHERCHENBERICHT

Angaben zu Veröffentlichungen, die zur selben Patentfamilie gehören

Internationaler Aktenzeichen

PCT/EP 03/03811

Im Recherchenbericht angeführtes Patentdokument		Datum der Veröffentlichung	Mitglied(er) der Patentfamilie	Datum der Veröffentlichung
US 5478011	A	26-12-1995	KEINE	
EP 0764594	A	26-03-1997	IT B0950446 A1 CN 1149431 A EP 0764594 A1 US 5823331 A	25-03-1997 14-05-1997 26-03-1997 20-10-1998
EP 0414532	A	27-02-1991	AU 637131 B2 AU 6120190 A CA 2023664 A1 DE 69017560 D1 DE 69017560 T2 EP 0414532 A1 US 5044550 A US 5092107 A ZA 9007790 A	20-05-1993 28-02-1991 23-02-1991 13-04-1995 19-10-1995 27-02-1991 03-09-1991 03-03-1992 28-08-1991
EP 0941943	A	15-09-1999	IT B0980146 A1 CN 1232775 A DE 69905301 D1 EP 0941943 A1 US 6168014 B1	13-09-1999 27-10-1999 20-03-2003 15-09-1999 02-01-2001
DE 10031319	A	17-01-2002	DE 10031319 A1 AU 8755301 A BR 0112156 A WO 0202306 A1 EP 1296813 A1	17-01-2002 14-01-2002 10-06-2003 10-01-2002 02-04-2003
US 6311834	B1	06-11-2001	DE 19741481 A1 AU 9740098 A BR 9812253 A CN 1273557 T DE 59806212 D1 WO 9915436 A1 EP 1015353 A1 JP 2001517588 T PL 339307 A1	25-03-1999 12-04-1999 18-07-2000 15-11-2000 12-12-2002 01-04-1999 05-07-2000 09-10-2001 04-12-2000
DE 3116924	A	10-02-1983	DE 3116924 A1	10-02-1983

## フロントページの続き

(81)指定国 AP(GH,GM,KE,LS,MW,MZ,SD,SL,SZ,TZ,UG,ZM,ZW),EA(AM,AZ,BY,KG,KZ,MD,RU,TJ,TM),EP(AT, BE,BG,CH,CY,CZ,DE,DK,EE,ES,FI,FR,GB,GR,HU,IE,IT,LU,MC,NL,PT,RO,SE,SI,SK,TR),OA(BF,BJ,CF,CG,CI,CM,GA, GN,GQ,GW,ML,MR,NE,SN,TD,TG),AE,AG,AL,AM,AT,AU,AZ,BA,BB,BG,BR,BY,BZ,CA,CH,CN,CO,CR,CU,CZ,DK,DM,DZ,EC, EE,ES,FI,GB,GD,GE,GH,GM,HR,HU,ID,IL,IN,IS,JP,KE,KG,KP,KR,KZ,LC,LK,LR,LS,LT,LU,LV,MA,MD,MG,MK,MN,MW,M X,MZ,NI,NO,NZ,OM,PH,PL,PT,RO,RU,SC,SD,SE,SG,SK,SL,TJ,TM,TN,TR,TT,TZ,UA,UG,US,UZ,VC,VN,YU,ZA,ZM,ZW

(74)代理人 100100952

弁理士 風間 鉄也

(74)代理人 100084618

弁理士 村松 貞男

(74)代理人 100092196

弁理士 橋本 良郎

(72)発明者 フォッケ、ハインツ

ドイツ連邦共和国、2 7 2 8 3 フェルデン、モールシュトラッセ 6 4

(72)発明者 ハイン、ピクター

ドイツ連邦共和国、2 7 2 8 3 フェルデン、ホッペンカムプ 1 1

(72)発明者 ローマン、ラインハルト

ドイツ連邦共和国、2 7 3 8 3 シェッセル、レームサルベーク 3 9

(72)発明者 シェンベルガー、ハンス

ドイツ連邦共和国、2 7 2 8 3 フェルデン、クライエンカムプ 1 2

Fターム(参考) 3E060 AA01 AB05 BC06 DA13 DA14 EA06 EA20

3E068 AA21 AB02 AC02 BB09 CC04 CD01 EE13 EE32



【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第2部門第6区分  
 【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-523854(P2005-523854A)  
 【公表日】平成17年8月11日(2005.8.11)  
 【年通号数】公開・登録公報2005-031  
 【出願番号】特願2004-501281(P2004-501281)  
 【国際特許分類】

B 6 5 D 5/66 (2006.01)  
 A 2 4 F 15/12 (2006.01)  
 B 6 5 D 85/10 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 5/66 3 0 1 C  
 A 2 4 F 15/12  
 B 6 5 D 85/10

【手続補正書】

【提出日】平成17年8月9日(2005.8.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ボックス部(11)と、ボックス部に接続された蓋(12)と、カラー(13)とを含み、ボックス部(11)と蓋(12)が、円形断面の対応する直立前部および後部縁部(35, 36)-円形縁部-を形成するヒンジ蓋付きボックス(ヒンジ蓋付きパック)タイプのシガレットパックであって、

パック縁部(35, 36)の円形部分は、シガレット(10)の半径よりも相当に大きい、すなわち、6mm~10mm、特に(約)8mmの(仮想)半径を有する点を特徴とするシガレットパック。

【請求項2】

側部壁(19, 20)と蓋の側部壁(24, 25)は、前部と後部の円形パック縁部(35, 36)から形成されており、比較的幅の狭い平面の中間領域-サイドストリップ(38)-(平面状の)サイドストリップ(38)は、好ましくは、7mm~8mmの幅を有するとともに、側部壁(19, 20)および蓋の側部壁(24, 25)は、前部と後部の円形パック縁部(35, 36)から形成されており、比較的幅の狭い平面の中間領域-サイドストリップ(38)-(平面状の)サイドストリップ(38)は、好ましくは、7mm~8mmの幅を有しており、側部壁(19, 20)と蓋の側部壁(24, 25)をそれぞれ形成する側部タブ(29, 30)と蓋の側部タブ(31, 32)は、サイドストリップ(38)の領域においてのみ互いに重なって、接着によって互接続されている点を特徴とする請求項1に記載のシガレットパック。

【請求項3】

側部壁(19, 20)および蓋の側部壁(24, 25)は、全体に円形、すなわち、円形の前部および後部のパック縁部(35, 36)と、これらの間に設けられ、円形のパック縁部(35, 36)の半径よりも相当に大きい、すなわち、15mm~20mm、特に、約17mmの(仮想)半径を備える円形領域(37)を有する点、および、側部壁(19, 20)と蓋の側部壁(24, 25)をそれぞれ形成する側部タブ(29, 30)と蓋の側部タブ(31, 32)は、円形領域(37)においてのみ互いに重なって、接着によって互接続されている点を特徴

とする請求項1記載のシガレットパック。

【請求項4】

シガレットパックを製造するためのブランクは、部分的に重なる側部タブ(29, 30)と蓋の側部タブ(31, 32)を含む側部壁(19, 20)および蓋の側部壁(24, 25)を有し、前記側部タブ(29, 30)および蓋の側部タブ(31, 32)は、少なくとも円形部分を形成する領域において、すなわち、円形のパック縁部(35, 36)の領域において、切れ目(39)を有する点、および、外側の側部タブ(29)および/または内側の側部タブ(30)および/または外側の蓋の側部タブ(31)および/または内側の蓋の側部タブ(32)は、側部壁(19, 20)および蓋の側部壁(24, 25)の平面状の境界ストリップ(45)の領域において、平面状の重なり部を形成するための切れ目のない外側の境界ストリップ(45)を備えている点を特徴とする請求項1または2記載のシガレットパック。

【請求項5】

ベース壁(21)および/または端部壁(26)には、側部壁(19, 20)および/または蓋の側部壁(24, 25)の領域において、それぞれに2つのコーナタブ(41, 42)が充当されており、

それぞれに相互作用を行うコーナタブ(41, 42)は、楔状の打ち抜き部(43)によって互いに分離されており、前記2つのコーナタブ(41, 42)は、曲折状態においては、隙間のない態様で互いに向き合って直接接する点を特徴とする請求項1記載のシガレットパック。

【請求項6】

シガレットのグループ(14)は、パックの各側部壁(19, 20)が、2本の隣接するシガレット(10)を備える1つの横断方向列と向き合うように、パックの内容物として横断方向の複数列をなして形成される点、および、3本の隣接するシガレット(10)の1つの横断方向列が、前記2本の隣接するシガレットを備える1つの横断方向列に隣接して配置されており、隣接横断方向列同士のシガレット(10)は、互いにオフセットされて配置されている点を特徴とする請求項2または3記載のシガレットパック。